

広島市立己斐上中学校 第3学年「社会科」シラバス

学年の目標

歴史的分野の目標

歴史に見られる国際関係や文化交流のあらましを理解させ、我が国と諸外国の歴史や文化が相互に深く関わっていることを考えさせるとともに、他民族の文化、生活などに関心を持たせ、国際協調の精神を養う。

公民的分野の目標

- 1 個人の尊厳と人権の尊重の意義、特に自由・権利と責任・義務の関係を広い視野から正しく認識させ、民主主義に関する理解を深めるとともに、国民権を担う公民として必要な基礎的教養を培う。
- 2 民主政治の意義、国民の生活の向上と経済活動とのかかわり及び現代の社会生活などについて、個人と社会とのかかわりを中心に理解を深めるとともに、社会の諸問題に着目させ、自ら考えようとする態度を育てる。
- 3 国際的な相互依存関係の深まりの中で、世界平和の実現と人類の福祉の増大のために、各国が相互に主権を尊重し 各国民が協力し合うことが重要であることを認識させるとともに、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることが大切であることを自覚させる。
- 4 現代の社会的事象に対する関心を高め、様々な資料を適切に収集、選択して多面的・多角的に考察し、事実を正確にとらえ、公正に判断するとともに適切に表現する能力と態度を育てる。

月	学習内容	学習のねらい
4 5	【歴史的分野】 ■第6章 二度の世界大戦と日本	<ul style="list-style-type: none"> ●日本で近代産業が発展し、近代文化が形成されたことを理解させる。 ●昭和初期から第二次世界大戦終結までの日本の政治・経済・外交の動きなどを、東アジア諸国との関係や欧米諸国の動きに着目させながら、特に経済の混乱から社会問題、軍部の台頭、戦争の勃発から敗戦までの経緯を理解させる。 ●戦時下の国民生活をなるべく身近に感じさせるとともに、戦争の惨禍にも目を向けさせ、関心や態度を養う。
6	■第7章 現代の日本と世界	<ul style="list-style-type: none"> ●国際社会における日本の役割や、地域社会における個人の取り組みなどに関心を持たせるとともに、将来の社会に期待をいだかせ、さらに社会の一員としての自覚を深めさせる。
7 9	【公民的分野】 ■第1章 わたしたちの生活と現代社会	<ul style="list-style-type: none"> ●自分たちが生きる現代社会を概観し、学ぶことで、公民的分野への関心を高めるとともに、政治や経済、国際社会の学習の基礎的な見方や考え方を養い、これ以降の学習につなげる。 ●現代日本の特色としてグローバル化、情報化、少子高齢化などが見られ、それらが政治、経済、国際社会に影響を与え、また、現代社会における文化の意義や影響について理解させる。
10	■第2章 人間の尊重と日本国憲法 1 人権と日本国憲法 2 人権と共生社会これからの人権保障	<ul style="list-style-type: none"> ●人間の尊重についての考え方を、基本的人権を中心に、具体的な活動などを通して意欲的に追究させるとともに、法の意義を理解させる。 ●日本国憲法の基本原理を、社会の形成者としての立場から理解させ、個人の尊厳と両性の本質的平等、自由・権利と責任・義務の関係が社会生活の基本となっていることに気付かせる。
11	■第3章 現代の民主政治と社会 1 現代の民主政治国の政治のしくみ 2 地方の政治と自治	<ul style="list-style-type: none"> ●議会制民主主義や住民自治の意義などについて考えさせる。また、良識ある主権者としての政治参加の在り方について考えさせる。 ●国会を中心とする日本の民主政治の仕組みのあらましや地方自治の基本的な考え方について理解させる。同時に、法の意義や法に基づく公正な裁判の保障について理解させる。
12	■第4章 わたしたちのくらしと経済 1 くらしと経済生産と労働 2 価格の働きと金融 3 国民生活と福祉 ■第5章 地球社会とわたしたち 1 国際社会と世界平和	<ul style="list-style-type: none"> ●無限で多様な人々の欲求に対して、現代の生産や金融などの仕組みや働き、企業の役割と責任について考えさせる。 ●国民の生活と福祉の向上を図るために、市場の働きにゆだねることが難しい諸問題に関して、国や地方公共団体が果たしている役割に気付かせ、財源の確保と配分という観点から財政の役割について考えさせる。 ●国際社会が抱える諸課題について関心を高め、様々な資料を適切に収集・選択して多面的・多角的に考察させるとともに、その解決のための国際的な努力について理解させる。
1 2 3	2 国際問題とわたしたち ■終章 よりよい社会をめざして 3 年間のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ●国際的な相互依存関係の深まりの中で、世界平和の実現と人類の福祉の増大のために、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことが重要であることを認識させる。 ●持続可能な社会を形成するために、社会参画するための手がかりを得させる。

評価の方法

- ② 社会的な事象への関心・意欲・態度・・・・・・・・授業中の行動・発言・ノートや課題などの提出状況・自主学習や作業などへの取り組み状況
- ② 社会的な思考・判断・・・・・・・・授業中の行動・発言・課題・ノートのまとめ方・自主学習の取り組み・単元テスト・定期テスト
- ③ 資料活用の技能・表現・・・・・・・・授業中の行動・発言・ノート、課題や復習のまとめ方・単元テスト・定期テスト
- ④ 社会的な事象についての知識・理解・・・・・・・・単元テスト・定期テスト